

「しまね教育の日フォーラム2016」開催要項

■「しまね教育の日」

家庭環境や社会的な価値観の変化による地域の教育力の低下、学校教育におけるいじめや学級崩壊など緊急に解決すべき課題に対処していくためには、学校だけでなく、学校、家庭、地域、行政が一体となり、県民総参加で教育に関わっていくべきとの趣旨で、条例により、毎年11月1日が「しまね教育の日」、それに続く11月7日までが「しまね教育ウィーク」に定められています。

県、市町村、学校、教育関係団体等で「しまね教育の日」「しまね教育ウィーク」に関連する様々な取組が行われており、平成27年度は約1,400件の取組に延べ約41万人が参加しました。

■「しまね教育の日フォーラム2016」

1. 日時 平成28年11月1日(火) 13:30～16:00
2. 場所 サンラポーむらくも 2階 瑞雲の間 (松江市殿町)
3. 主催 島根県教育委員会、島根県、青少年育成島根県民会議
4. テーマ

「地域で育む魅力ある島根の教育とは」

魅力ある教育を進めるには、県と市町村が連携を図り、幼保・小・中・高・特別支援学校等を貫く取り組み(縦のつながり)が求められます。

また、学校内での学習の充実はもちろん、学校が地域の核となり、地域総がかりで魅力ある教育環境をつくっていくことが求められます(横のつながり)。

この縦と横の協働を進め、「子どもと地域の未来にとって魅力的な教育とは」を考え、実現に向けて動き出していくための「教育の魅力化キックオフフォーラム」です。

5. プログラム

- (1)開会のあいさつ [13:30～13:35] 島根県教育委員会教育長 鴨木 朗
- (2)小学生の発表 [13:35～13:45]
益田市立道川小学校児童による和太鼓の演奏
- (3)中学生の発表 [13:45～14:00]
「少年の主張」島根県大会で県知事賞を受賞した中学生による発表
『つなぐ傘』 林英里 さん (松江市立第一中学校2年生)
- (3)高校生による取組事例の発表 [14:00～14:15]
県立吉賀高等学校『高津川をフィールドとし、「森里海」のつながりについて考える』
(第17回全国高校生自然環境サミット開催校)
- (4)パネルディスカッション [14:15～15:55]
○コーディネーター 岩本 悠 氏 (島根県教育魅力化特命官)
○パネリスト 青戸 哲哉 氏 (株式会社山陰合同銀行地域振興部グループ長)
谷上 元織 氏 (益田市教育委員会派遣社会教育主事)
中村美楠子 氏 (大東高等学校教諭・キャリア教育担当)
古川 香里 氏 (東京都出身Iターン者・元しまね留学保護者)
石井佑布子 氏 (東洋大学在学(埼玉県出身)・元しまね留学生)
大脇 政人 氏 (早稲田大学在学(海士町出身))
取組事例を発表した吉賀高校生
- (5)閉会のあいさつ [15:55～16:00] 島根県健康福祉部長 藤間 博之